

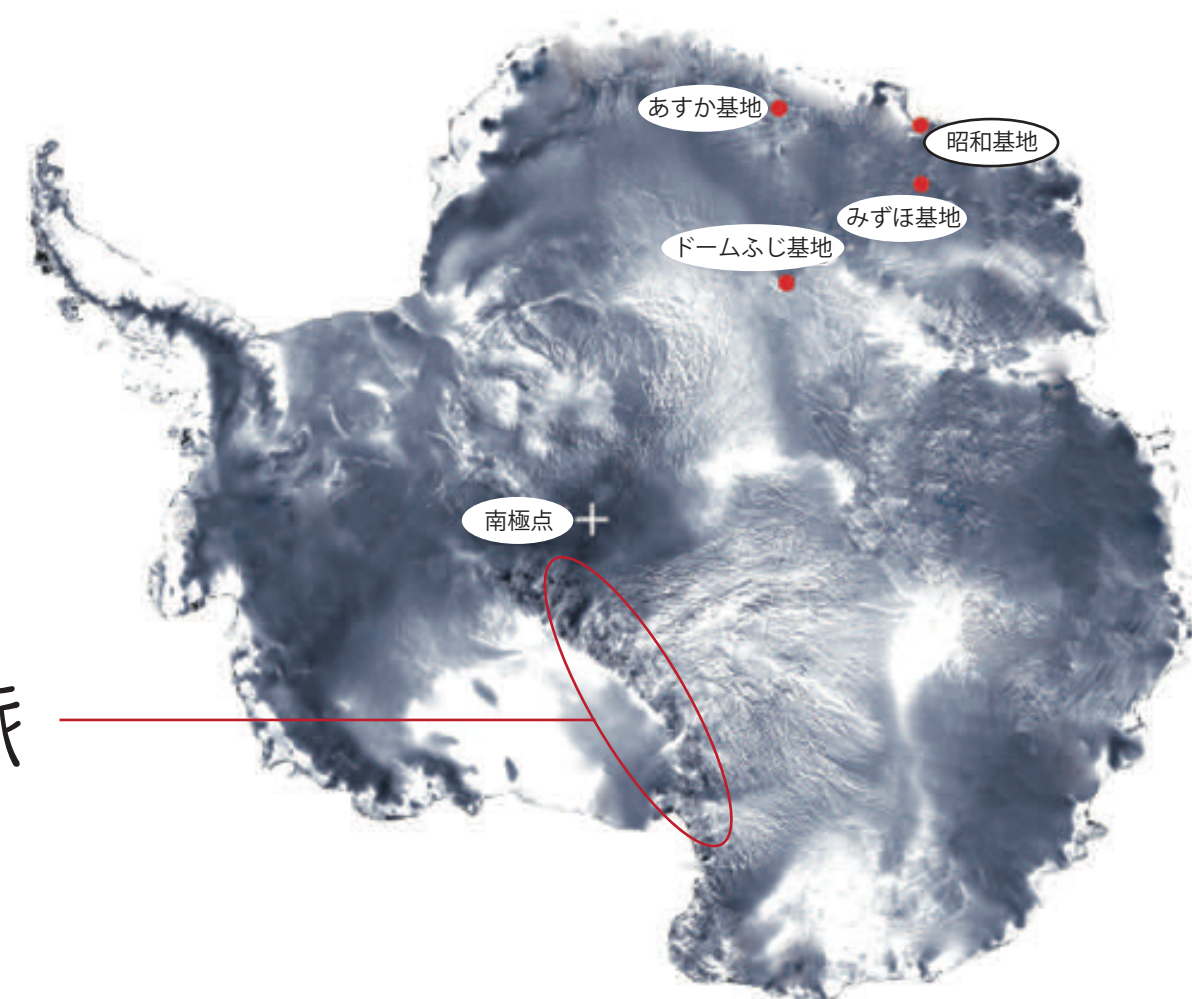


グロソプテリスの化石



【種類】 化石

【採取地】 南極横断山脈



グロソプテリスとは、古生代ペルム紀(約 2 億 9,900 万年前～ 2 億 5,100 万年前)に栄えたシダ種子目の植物です。湿地に生え、高さ 8 ～ 10m になることもありました。「舌状の葉」という意味で、舌のような形の大きな葉が特徴で、葉と向き合うように繁殖器官がついていました。南極大陸のほか、アフリカや南アメリカ、インドからも化石が発見されています。

イギリスの探検家スコットがテントの中で遺体で発見(※)されたとき、グロソプテリスの化石が残されていました。不要な装備を捨てるなか、この植物化石は科学的な重要性から手放さなかったのではと言われています。

※スコット率いる探検隊は 1912 年に南極点に到達するも、帰路を悪天候にはばまれ全員が死亡しました。